

令和5年度（2023年度）

# 北海道立教育研究所

## 研修講座案内

令和5年（2023年）6月15日版

北海道立教育研究所



# 「新たな教師の学びの姿」の実現へ

令和5年（2023年）4月 北海道立教育研究所

## 令和5年度研修講座のコンセプト

「新たな教師の学びの姿」を実現するための研修の推進を  
～個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために～

道研は、令和2年度から実施してきた「新しい研修様式」の成果や課題を踏まえ、個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」を実現することができる研修を企画し、北海道の教員に、いわゆる「新たな教師の学びの姿」を実現するための研修を提供します。

## 「新たな教師の学びの姿」を実現する研修の推進とは…

新たな教師の学びの姿

変化を前向きに受け止め、探究心をもちつつ自律的に学ぶことができる  
「主体的な姿勢」

求められる知識技能が変わっていくことを意識することができる  
「継続的な学び」

新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した  
「個別最適な学び」

他者との対話や振り返りの機会を確保した  
「協働的な学び」

『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）  
令和4年12月19日 中央教育審議会

研修効果の一層の向上のため  
**研修様式**を組み合わせる

1つの研修講座の中で複数の研修様式を組み合わせ、移動の負担を軽減させつつ研修内容を職場で実践するなど研修効果の向上を目指します。

### <オンデマンド型研修>

都合のよい時間に自分のペースで基礎知識を習得し、課題を整理



### <集合型研修>

本物に触れ、感動を味わうなど授業改善に直結する実習や演習等の実施



### <職場実践>

研修で学んだことを授業や校内研修で実践し多くの教員へ還元



### <遠隔型研修>

道内外の第一人者から新たな知見を学ぶ機会は、自校を離れず研修に参加



研修の質的向上に向け、研究成果を速やかに講座に反映

教師自らが問いを立て実践を積み重ね、振り返り、次につなげていく探究的な学び



教員個々のキャリアや持ち味等を踏まえたより効果的な研修の在り方を研究

「令和の日本型学校教育」を担う教師にふさわしい資質能力の育成

# 目 次

令和5年度（2023年度）北海道立教育研究所研修講座一覧	・ ・ ・ ・ ・	p 1
令和5年度（2023年度）北海道立教育研究所研修講座校種別一覧		
小学校・中学校	・ ・ ・ ・ ・	p 2
高等学校・特別支援学校	・ ・ ・ ・ ・	p 3
令和5年度（2023年度）北海道立教育研究所研修講座日程表	・ ・ ・ ・ ・	p 4
令和5年度（2023年度）北海道立教育研究所研修講座概要	・ ・ ・ ・ ・	p 5～23
研修講座受講手続き等	・ ・ ・ ・ ・	p 24
様式「令和5年度（2023年度）北海道立教育研究所研修講座受講申込書」		p 25
様式「受講取消連絡票」	・ ・ ・ ・ ・	p 26
受講上の留意事項	・ ・ ・ ・ ・	p 27～28
北海道立教育研究所の施設・設備	・ ・ ・ ・ ・	p 29
建物平面図	・ ・ ・ ・ ・	p 30
電話・FAX番号等一覧、交通アクセス	・ ・ ・ ・ ・	p 31

令和5年度(2023年度)北海道立教育研究所研修講座一覧

(令和5年6月15日現在)

区分・講座番号	講座名	略称	研修講座日程				対象		受講者以外への公開		
			①	②	③	④	小	中高特	ライブ	オンデマ	
管理職	校長等	1 学校経営研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～	学校経営	①遠隔 6/9(金)	②遠隔 9/8(金) ②選択 集合 9/8(金)	③遠隔 10/18(水)				①	①
		2 学校経営研修2 ～組織力を高める校長のマネジメント～	組織力	①遠隔 8/25(金) ①選択 集合 8/25(金)	②遠隔 11/22(水)					①	①
		3 学校経営研修3 ～学校教育の質を高める働き方改革～	働き方	①オンデマ 6/6(火)～6/19(月)	②遠隔 6/20(火),6/21(水)	③遠隔 9/20(水),9/21(木)					①
		4 学校経営研修4 ～協働性、同僚性を高める管理職のマネジメント～	協働性	①遠隔 10/2(月)						①	①
		5 学校経営研修5 ～学び続ける教員を支える教員研修～	教員研修	①遠隔 5/31(水)	②遠隔 9/13(水)						
		6 学校経営研修6 ～スクールロイヤーから学ぶ危機管理体制の在り方～	危機管理	①遠隔 10/6(金) ①選択 集合 10/6(金)							①
	教頭・ミドル	7 学校運営研修1 ～組織を活性化化するヒューマンリソース・マネジメント～	組織活性化	①オンデマ 6/1(木)～6/14(水)	②遠隔 7/12(水)						①②
		8 学校運営研修2 ～組織開発につながる校内研修～	組織開発	①オンデマ 5/23(火)～6/6(火)	②遠隔 6/27(火)						
		9 学校運営研修3 ～メンター研修による若手教員の育成～	メンター	①オンデマ 7月中旬～	②遠隔 9/1(金)					②	①②
教科指導	10 教科研修(高校 国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語) ～探究的な学びの充実に向けた授業改善～	国	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/21(金)	③遠隔 11/17(金)					①	
		地歴公民	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/12(水)	③遠隔 11/15(水)					①	
		数	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/13(木)	③遠隔 11/14(火)					①	
		理	①遠隔 7/21(金)	②オンデマ 7/24(月)～	③集合 8/31(木)～9/1(金)	④遠隔 1/22(月)					
		英	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/14(金)	③遠隔 11/16(木)					①	
	11 教科指導力向上研修(中学校 国語、社会、数学、理科、英語) ～高校入試問題等から授業改善のヒントを得る～	国	①オンデマ 9/1(金)～9/11(月)	②遠隔 9/13(水)						①	
		社	①オンデマ 9/1(金)～9/11(月)	②遠隔 9/13(水)						①	
		中数	①オンデマ 9/1(金)～9/11(月)	②遠隔 9/12(火)						①	
		理	①オンデマ 9/1(金)～9/11(月)	②遠隔 9/12(火)						①	
		英	①オンデマ 9/1(金)～9/11(月)	②遠隔 9/13(水)						①	
	12 中学校国語教育充実研修 ～国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する指導の在り方～	中国充	①オンデマ 7/14(金)～8/16(水)	②遠隔 8/24(金)	③遠隔 11/24(金)					②③	
	13 中学校数学教育充実研修 ～数学的に考える資質・能力を育成する指導の在り方～	中数充	①オンデマ 7/14(金)～8/16(水)	②遠隔 8/25(金)	③遠隔 11/29(水)					②③	
	14 中学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導の在り方～	中外充	①オンデマ 6/21(水)～6/30(金)	②遠隔 7/11(火)	③遠隔 10/20(金)					②③	
	15 小学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する指導の在り方～	小外充	①オンデマ 6/19(月)～6/26(月)	②遠隔 7/3(月)	③遠隔 10/13(金),10/16(月)					②③	
	16 英語力ブラッシュアップ研修(小学校)	英語力	①遠隔 8/22(火)	②遠隔 8/29(火)	③遠隔 9/6(水)	④遠隔 9/27(水)	⑤遠隔 10/24(火)				
	専門	17 S-TEAM教育推進事業「STEAM」推進プロジェクト「理数探究セミナー」(高等学校)	理数探究	①遠隔 11/2(木) ①選択 集合 11/2(木)	②遠隔 11/17(金)	③遠隔 12/12(火)					①
18 科学的に探究するために必要な資質・能力を育む実践力向上研修(中学校)		中数探	①遠隔 10/10(火)	②オンデマ 10/11(水)～	③集合 11/8(水)～11/9(木)	④遠隔 2/6(火)				①	
19 問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む実践力向上研修(小学校)		問題解決	①遠隔 9/20(水)	②オンデマ 9/21(木)～	③集合 10/5(木)～10/6(金)	④遠隔 1/29(月)				①	
20 商業科教員の実践的指導力向上研修 ～商業科目の授業づくりの進め方～		商業	①オンデマ 9月中旬～下旬	②集合 10/19(木)～10/20(金)						①	
21 工業科教員の実践的指導力向上研修 ～科目「工業情報数理」の授業づくりの進め方～		工業	①オンデマ 9月中旬～下旬	②集合 10/12(木)～10/13(金)						①	
生徒指導	22 生徒指導研修1 ～いじめ問題への組織的な対応～	いじめ	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/3(月)	③遠隔 11/28(火)					②	
	23 生徒指導研修2 ～不登校児童生徒への支援の在り方～	不登校	①オンデマ 6/15(木)～6/29(木)	②遠隔 7/6(水)	③遠隔 7/13(木)					①	
	24 生徒指導研修3 ～「心の危機に気づく力」と「相談する力」の育成～	心危機	①オンデマ 5/23(火)～6/6(火)	②遠隔 6/23(金)						② ②	
	25 総合的な探究の時間「実践研修(組履、上川、日高、網走、根室)」	総探	①遠隔 6/1(木)	②遠隔 6/13(火)	③分散 7/31(月),8/1(火),8/3(木),8/7(月),8/8(火)					①②	
課題対応	26 保護者との連携の在り方 ～保護者理解に向けたロールプレイ演習～	保護者	①集合 6/30(金)							① ①	
	27 情報活用能力育成のためのカリキュラム・マネジメント ～小・中・高を通じた情報活用能力の育成～	情報活用	①オンデマ 9月中旬～下旬	②遠隔 10/26(木),11/2(木),11/9(木)	③遠隔 11/16(木),11/22(水),11/30(木)						
	28 地域を創造する人材育成の推進 ～起業家教育の視点からのSTEAM教育の展開～	地域人材	①オンデマ 11月中旬～下旬	②集合 12/8(金)							
	29 へき地・小規模校教育充実研修	へき小	①遠隔 5/25(木)	②遠隔 12/7(木)						①	
	30 薬品取扱い研修(小・中・高等学校)	薬品	①集合 7/14(金)								

※ 実施形態について  
 オンデマ:「オンデマ」型研修(遠隔から動画等を配信し、期間内の任意の日時で視聴していただく研修です。  
 集合:「集合型研修」(従来どおり遠隔または遠隔以外の会場に集合して実施する研修です。  
 分散:「分散型研修」(集合型研修形式により実施しますが、受講者を会場や時間帯で分けて実施する研修です。  
 遠隔:「遠隔型研修」(ウェブ会議システム等を利用し、リアルタイム・双方向で実施する研修です。  
 選択:「遠隔型研修」と「集合型研修」から希望する形態を選択して受講する研修です。

- ① オンデマ型研修 (動画等の配信)
- ② 集合型研修 (会場:道立教育研究所)
- ③ 遠隔型研修 (リアルタイム・双方向で実施)
- ④ 分散型研修 (会場:道立教育研究所以外)



令和5年度(2023年度)北海道立教育研究所研修講座校種別一覧

(令和5年6月15日現在)

◎高等学校

区分・講座番号	講座名	略称	研修講座日程				対 象				受講者以外への公開						
			①	②	③	④	小	中	高	特	ライブ	オンデマ					
管理職	校長等	1 学校経営研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファンリテーション～	学校経営	①遠隔 6/9(金)	②選択 遠隔 9/8(金) 集合 9/8(金)	③遠隔 10/18(水)					○	○	○	○	①	①	
		2 学校経営研修2 ～組織力を高める校長のマネジメント～	組織力	①選択 遠隔 8/25(金) 集合 8/25(金)	②遠隔 11/22(水)							○	○	○	○	①	①
		3 学校経営研修3 ～学校教育の質を高める働き方改革～	働き方	①オンデマ 6/6(火)～6/19(月)	②遠隔 6/20(火)6/21(水)	③遠隔 9/20(水)9/21(木)						○	○	○	○		①
		4 学校経営研修4 ～協働性、同僚性を高める管理職のマネジメント～	協働性	①遠隔 10/2(月)								○	○	○	○	①	①
		5 学校経営研修5 ～学び続ける教員を支える教員研修～	教員研修	①遠隔 5/31(水)	②遠隔 9/13(水)							○	○	○	○		
		6 学校経営研修6 ～スクールロイヤーから学ぶ危機管理体制の在り方～	危機管理	①遠隔 10/6(金)	②選択 集合 10/6(金)							○	○	○	○	①	①
	教頭・ミドル	7 学校運営研修1 ～組織を活性化するためのヒューマンリソース・マネジメント～	組織活性	①オンデマ 6/1(木)～6/14(水)	②遠隔 7/12(水)						○	○	○	○		①②	
		8 学校運営研修2 ～組織開発につながる校内研修～	組織開発	①オンデマ 5/23(火)～6/6(火)	②遠隔 6/27(火)						○	○	○	○			
		9 学校運営研修3 ～メンター研修による若手教員の育成～	メンター	①オンデマ 7月中旬～	②遠隔 9/1(金)						○	○	○	○	②	①②	
教科指導	10 教科研修(高校 国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語) ～探究的な学びの充実に向けた授業改善～	国	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/21(金)	③遠隔 11/17(金)								○		①		
		地歴公	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/12(水)	③遠隔 11/15(水)									○	①		
		数	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/13(木)	③遠隔 11/14(火)									○	①		
		理	①遠隔 7/21(金)	②オンデマ 7/24(月)～	③集合 8/31(木)～9/1(金)	④遠隔 1/22(月)											
		英	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/14(金)	③遠隔 11/16(木)									○		①	
専門	17 S-TEAM教育推進事業「STEAM」推進プロジェクト「理数探究セミナー」(高等学校)	理数探究	①遠隔 11/2(木)	②遠隔 11/17(金)	③遠隔 12/12(火)												
	20 商業科教員の実践的指導力向上研修 ～商業科目の授業づくりの進め方～	商業	①オンデマ 9月中旬～下旬	②集合 10/19(木)～10/20(金)									○				
	21 工業科教員の実践的指導力向上研修 ～科目「工業情報数理」の授業づくりの進め方～	工業	①オンデマ 9月中旬～下旬	②集合 10/12(木)～10/13(金)									○				
生徒指導	22 生徒指導研修1 ～いじめ問題への組織的な対応～	いじめ	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/3(月)	③遠隔 11/28(火)									②			
	23 生徒指導研修2 ～不登校児童生徒への支援の在り方～	不登校	①オンデマ 6/15(木)～6/29(木)	②遠隔 7/6(木)	③遠隔 7/13(木)								○	○	○		
	24 生徒指導研修3 ～「心の危機に気付く力」「相談する力」の育成～	心危機	①オンデマ 5/23(火)～6/6(火)	②遠隔 6/23(金)									○	○	○		
課題対応	25 「総合的な探究の時間」実践研修(胆振、上川、日高、網走、稚釧)	総探	①遠隔 6/1(木)	②遠隔 6/13(火)	③分散 7/31(月)8/1(火)、8/3(木)8/7(月)8/8(火)								○	①②			
	27 情報活用能力育成のためのカリキュラム・マネジメント～小・中・高を通じた情報活用能力の育成～	情報活用	①オンデマ 9月中旬～下旬	②遠隔 10/26(木)11/2(木)、11/9(木)	③遠隔 11/16(木)11/22(水)、11/30(木)								○	○	○		
	28 地域を創造する人材育成の推進～起業家教育の視点からのSTEAM教育の展開～	地域人材	①オンデマ 11月中旬～下旬	②集合 12/8(金)									○				
	30 薬品取扱研修(小・中・高等学校)	薬品	①集合 7/14(金)										○	○	○		

◎特別支援学校

区分・講座番号	講座名	略称	研修講座日程				対 象				受講者以外への公開						
			①	②	③	④	小	中	高	特	ライブ	オンデマ					
管理職	校長等	1 学校経営研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファンリテーション～	学校経営	①遠隔 6/9(金)	②選択 遠隔 9/8(金) 集合 9/8(金)	③遠隔 10/18(水)					○	○	○	○	①	①	
		2 学校経営研修2 ～組織力を高める校長のマネジメント～	組織力	①選択 遠隔 8/25(金) 集合 8/25(金)	②遠隔 11/22(水)							○	○	○	○	①	①
		3 学校経営研修3 ～学校教育の質を高める働き方改革～	働き方	①オンデマ 6/6(火)～6/19(月)	②遠隔 6/20(火)6/21(水)	③遠隔 9/20(水)9/21(木)						○	○	○	○		①
		4 学校経営研修4 ～協働性、同僚性を高める管理職のマネジメント～	協働性	①遠隔 10/2(月)								○	○	○	○	①	①
		5 学校経営研修5 ～学び続ける教員を支える教員研修～	教員研修	①遠隔 5/31(水)	②遠隔 9/13(水)							○	○	○	○		
		6 学校経営研修6 ～スクールロイヤーから学ぶ危機管理体制の在り方～	危機管理	①遠隔 10/6(金)	②選択 集合 10/6(金)							○	○	○	○	①	①
	教頭・ミドル	7 学校運営研修1 ～組織を活性化するためのヒューマンリソース・マネジメント～	組織活性	①オンデマ 6/1(木)～6/14(水)	②遠隔 7/12(水)						○	○	○	○		①②	
		8 学校運営研修2 ～組織開発につながる校内研修～	組織開発	①オンデマ 5/23(火)～6/6(火)	②遠隔 6/27(火)						○	○	○	○			
		9 学校運営研修3 ～メンター研修による若手教員の育成～	メンター	①オンデマ 7月中旬～	②遠隔 9/1(金)						○	○	○	○	②	①②	
生徒指導	22 生徒指導研修1 ～いじめ問題への組織的な対応～	いじめ	①オンデマ 6/13(火)～6/27(火)	②遠隔 7/3(月)	③遠隔 11/28(火)									②			
	23 生徒指導研修2 ～不登校児童生徒への支援の在り方～	不登校	①オンデマ 6/15(木)～6/29(木)	②遠隔 7/6(木)	③遠隔 7/13(木)								○	○	○		
	24 生徒指導研修3 ～「心の危機に気付く力」「相談する力」の育成～	心危機	①オンデマ 5/23(火)～6/6(火)	②遠隔 6/23(金)									○	○	○		

		オンデマンド型研修 (動画等の配信)		集合型研修 (会場:道立教育研究所)		集合型研修 (会場:道立教育研究所以外)		分散型研修 (会場:道立教育研究所以外)		遠隔型研修 (リアルタイム・双方向で実施)																					
4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

# 令和5年度（2023年度）北海道立教育研究所研修講座概要

（令和5年6月15日現在）

講座番号	1	講座名	学校経営研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～	
区分	管理職 (校長等)	講座名		
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議を通して、学校内外の関係者と学校ビジョンを共有し学校の教育力を最大化していくことについて理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の校長 32名
日程	実施形態	概要		
①6月9日(金)	遠隔	【講義・協議】(4h) ○学校経営におけるアセスメントとファシリテーション ○相互作用をプラスに働かせるファシリテーション		
【職場実践】後期に向けた学校ビジョンの見直し				
②9月8日(金)	遠隔・集合 (選択)	【協議】(2h) ○学校ビジョンの実現に向けた取組に係る協議		
【職場実践】学校ビジョンの共有とファシリテーションの実践				
③10月18日(水)	遠隔	【実践交流】(1.5h) ○学校ビジョンの共有とファシリテーションに係る交流		
講師	①NPO法人日本ファシリテーション協会 フェロー 堀 公俊 氏 (主な著書『ファシリテーション入門』『ファシリテーション・ベーシック』『ワークショップ入門』他多数) ②③北海道教育大学教職大学院旭川校 特任教授 北村 善春 氏 (元北海道立教育研究所長)		受講者以外 への公開 予定	①当日公開、 後日オンデマンド化

※全3回 ※②の研修は遠隔・集合から希望する形態を選択して受講いただけます。

講座番号	2	講座名	学校経営研修2 ～組織力を高める校長のマネジメント～	
区分	管理職 (校長等)	講座名		
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議等を通して、自校の組織力を高めるマネジメントの在り方について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の校長 32名(集合型) 100名(遠隔型)
日程	実施形態	概要		
①8月25日(金)	遠隔・集合 (選択)	【講義・協議】(6h) ○学校におけるビジョンと戦略 ○組織力を高めるための「到達目標の共有」及び「プロセスの設計」 ○教職員を動かすために必要なこと		
【職場実践】自校の組織力を高めるための具体的方策の実践				
②11月22日(水)	遠隔	【実践交流】(2h) ○職場実践の成果等交流		
講師	①一般社団法人ライフ&ワーク 代表理事(教育研究家) 妹尾 昌俊 氏 (学校業務改善アドバイザー(文部科学省委嘱他)。 中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員 等)		受講者以外 への公開 予定	①当日公開、 後日オンデマンド化

※全2回 ※①の研修は遠隔・集合から希望する形態を選択して受講いただけます。

講座番号	3	講座名	学校経営研修3 ～学校教育の質を高める働き方改革～	
区分	管理職 (校長等)			
研修のねらい	少人数での深い協議や実践交流を通して、組織マネジメントやリーダーシップの在り方等、働き方改革推進のために必要なポイントについて理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の校長 各校種8名 計32名
日程	実施形態	概要		
①6月6日(火) ～6月19日(月)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○学校組織の在り方 ○働き方改革を進める視点		
② 小A・中 6月20日(火) 高・特・小B 6月21日(水)	遠 隔	【協議】(2h) ○チーム学校としての働き方改革推進に向けて ○マネジメントの質の向上		
【職場実践】働き方改革推進に向けた取組				
③ 小A・中 9月20日(水) 高・特・小B 9月21日(木)	遠 隔	【実践交流・協議】(2h) ○地域・関係機関等と連携した働き方改革 ○リーダーシップ発揮の実際		
講師	①②③北海道教育庁教職員課働き方改革主幹		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全3回

講座番号	4	講座名	学校経営研修4 ～協働性、同僚性を高める管理職のマネジメント～	
区分	管理職 (校長等)			
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議を通して、教職員の協働性、同僚性を高める管理職のマネジメントについて、理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 32名
日程	実施形態	概要		
【事前課題】協働性、同僚性に関する自校の課題とその解決策の検討				
①10月2日(月)	遠 隔	【講義・交流・協議】(2.5h) ○心理的安全性を確保した人間関係づくりに向けた管理職のマネジメント ○自校における心理的安全性の確保の実際 ○協働性、同僚性が高まっている職場とは		
講師	①上越教育大学 教授 赤坂 真二 氏 (「チーム学校」への挑戦～学校の組織力と教育力を高める リーダーシップ～ 『総合教育技術』連載中。 「職員室の人間関係の責任者としての自覚を」 『月刊教職研修』2022年5月号)		受講者以外 への公開 予定	①当日公開、 後日オンデマンド化

※全1回

講座番号	5	講座名	学校経営研修5 ～学び続ける教員を支える教員研修～	
区分	管理職 (校長等)			
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議等を通して、「令和の日本型学校教育」を担う「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた管理職の役割について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 32名
日程	実施形態	概要		
①5月31日(水)	遠 隔	【講義・協議】(3h) ○学び続ける教員を支える教員研修 ○自校における教員研修の現状と今後の取組		
【職場実践】 ○変化を前向きに受け止め、探究心をもちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」をもつ教員集団のマネジメント ○研修ナビの活用				
②9月13日(水)	遠 隔	【協議】(2.5h) ○「新たな教師の学びの姿」の実現を目指し、教員一人一人の専門性の向上に向けたマネジメント		
講師	①独立行政法人教職員支援機構(NITS) 理事長 荒瀬 克己 氏 (令和4年度全国教育研究所連盟研究協議会(北海道大会 R4.10.28)全体会基調講演講師。 京都市立堀川高等学校長、大谷大学文学部教授等を経て現職。第12期中央教育審議会会長) ②各校種の校長		受講者以外 への公開 予定	なし

※全2回

講座番号	6	講座名	学校経営研修6 ～スクールロイヤーから学ぶ危機管理体制の在り方～	
区分	管理職 (校長等)			
研修のねらい	スクールロイヤーによる講義及び受講者同士の協議を通して、高度な法的専門性を要する事案への対応のための法務相談や危機管理体制の在り方について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 各校種8名 計32名
日程	実施形態	概要		
①10月6日(金)	遠隔・集合 (選択)	【講義・演習・協議】(3.5h) ○道内における相談事例について ○学校の危機対応に係る事例検討 ○学校の危機管理体制の改善・充実		
講師	①札幌弁護士会所属弁護士 森 洋仁 氏		受講者以外 への公開 予定	①当日公開、 後日オンデマンド化

※全1回 ※研修は遠隔・集合から希望する形態を選択して受講いただけます。

講座番号	7	講座名	学校運営研修1 ～組織を活性化するヒューマンリソース・マネジメント～	
区分	管理職 (教頭・ミドル)			
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議等を通して、自校のヒューマンリソース（人的資源）を意図的・計画的に活用し、教職員のやる気を引き出す具体策等について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の副校長、教頭、ベテラン及び中堅段階教諭 32名
日程	実施形態	概要		
①6月1日(木) ～6月14日(水)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○教員一人一人の強みや特性を生かした組織づくり		
【職場実践】自校分析に基づく人的資源の活用				
②7月12日(水)	遠隔	【交流・講義・協議】(2.5h) ○自校の現状と課題 ○自主性・向上性と同僚性・協働性を高める組織づくりの具体 ○今後の取組に向けて		
講師	①②早稲田大学 教授 河村 茂雄 氏 (NITS独立行政法人教職員支援機構 令和4年度学校組織マネジメント研修講師。 「学校管理職が進める教員組織づくり」 (図書文化, 2017)。 「Q-U『楽しい学校生活を送るためのアンケート』」 開発者)		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開 ②後日オンデマンド 化

※全2回

講座番号	8	講座名	学校運営研修2 ～組織開発につながる校内研修～	
区分	管理職 (教頭・ミドル)			
研修のねらい	講義及び実践発表、受講者同士の協議を通して、校内研修等の充実・活性化による学び合い高め合う教職員集団づくりについて理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の副校長、教頭、ベテラン及び中堅段階の教諭 32名
日程	実施形態	概要		
①5月23日(火) ～6月6日(火)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○研修の企画・運営・評価 (NITS校内研修シリーズNo.33)		
【職場実践】校内研修で学び合う教職員集団づくりに関する自校の課題の明確化				
②6月27日(火)	遠隔	【講義・実践発表・協議】(3.5h) ○組織開発につながる校内研修 ○校内研修で学び合う教職員集団づくりの実際 ○校内研修で学び合う教職員集団づくりに向けた自校の方策		
講師	②国立教育政策研究所研究企画開発部 総括研究官 千々布 敏弥 氏 (主な著書『先生たちのリフレクション～主体的・対話的で深い学びに近づく、たった一つの習慣』『学力がぐんぐん上がる急上昇県のひみつーあの県あの学校がやっている学力底上げの秘策』)		受講者以外 への公開 予定	なし

※全2回

講座番号	9	講座名	学校運営研修3 ～メンター研修による若手教員の育成～	
区分	管理職 (教頭・ミドル)			
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議等を通して、学校内におけるメンターチームにより若手教員を組織的に育成する方法について理解を深めることができる。		受講対象 定員	全ての校種の副校長、教頭、ベテラン及び中堅段階の教諭 32名
日程	実施形態	概要		
①7月14日(金) ～8月31日(木)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○学校内における組織的なメンター研修		
②9月1日(金)	遠隔	【講義・演習・協議】(3h) ○若手教員への効果的な支援 ○メンター研修(メンタリング)の実際 ○自校における効果的なOJT		
【職場実践・報告】 ○自校におけるメンター研修の成果と課題 ○Classroom上での実践報告				
講師	①②横浜国立大学 准教授 脇本 健弘 氏 (平成28年度文部科学省委託事業「総合的な教師力向上のための調査研究事業」(北海道教育委員会)アドバイザー)		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開 ②当日公開、 後日オンデマンド化

※全2回

講座番号	10-1	講座名	教科研修(高校 国語) ～探究的な学びの充実に向けた授業改善～	
区分	教科指導			
研修のねらい	国語科における探究的な学びについての理解を深め、言葉による見方・考え方を活用した探究的な学びに係る演習等によって、新学習指導要領に対応した授業改善のための高等学校国語科の実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	国語科担当教諭 高10名
日程	実施形態	概要		
①6月13日(火) ～6月27日(火)	オンデマンド	【講義・演習】(2h) ○新学習指導要領に対応した探究的な学び		
【職場実践】単元の指導と評価の計画の作成				
②7月21日(金)	遠隔	【協議】(3h) ○探究的な学びの充実に向けた工夫改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月17日(金)	遠隔	【協議】(3h) ○実践成果発表及び交流		
講師	①早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部 教授 幸田 国広 氏 (共著『高等学校国語科 新科目編成とこれからの授業づくり』など)		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全3回

講座番号	10-2	講座名	教科研修（高校 地理歴史・公民） ～探究的な学びの充実に向けた授業改善～	
区分	教科指導			
研修のねらい	地理歴史科・公民科における探究的な学びについての理解を深め、社会的な見方・考え方を活用した探究的な学びに係る演習等によって、新学習指導要領に対応した授業改善のための高等学校地理歴史科・公民科の実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	地理歴史科・公民科 担当教諭 高10名
日程	実施形態	概要		
①6月13日(火) ～6月27日(火)	オンデマンド	【講義・演習】(2h) ○新学習指導要領に対応した探究的な学び		
【職場実践】探究的な学びの充実に向けた単元の指導と評価の計画の作成				
②7月12日(水)	遠 隔	【協議】(3h) ○探究的な学びの充実に向けた工夫改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月15日(水)	遠 隔	【協議】(3h) ○実践成果発表及び交流		
講師	①国立教育政策研究所 教育課程調査官 空 健太 氏 (地理歴史科教育専門) ①長野大学 准教授 飯塚 秀彦 氏 (公民科教育専門)		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全3回

講座番号	10-3	講座名	教科研修（高校 数学） ～探究的な学びの充実に向けた授業改善～	
区分	教科指導			
研修のねらい	数学科における探究的な学びについての理解を深め、数学的な見方・考え方を活用した探究的な学びに係る演習等によって、新学習指導要領に対応した授業改善のための高等学校数学科の実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	数学科担当教諭 高10名
日程	実施形態	概要		
①6月13日(火) ～6月27日(火)	オンデマンド	【講義・演習】(2h) ○新学習指導要領に対応した探究的な学び		
【職場実践】単元の指導と評価の計画の作成				
②7月13日(木)	遠 隔	【協議】(3h) ○探究的な学びの充実に向けた工夫改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月14日(火)	遠 隔	【協議】(3h) ○実践成果発表及び交流		
講師	①北海道教育大学札幌校 教授 佐々 祐之 氏 (高等学校数学科における「授業研究コミュニティ」の形成に関する研究など)		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全3回

講座番号	10-4	講座名	教科研修（高校 理科） ～探究的な学びの充実に向けた授業改善～	
区分	教科指導			
研修のねらい	「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について理解を深め、実践的指導力を高めることで、「探究の過程」を踏まえた授業改善を推進する。		受講対象 定員	理科担当教諭 高24名
日程	実施形態	概要		
①7月21日(金)	遠 隔	【説明・協議】（1h） ○課題の明確化 ○OSTEAM教育との関連性		
②7月24日(月)～	オンデマンド	【説明・講義】（0.5h） ○理科教育の現状と課題 ○授業改善と評価の充実 ○実習のポイント		
③8月31日(木) ～9月1日(金)	集 合	【観察、実験等を行う実習】（6.5h、6h） ○「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験 ※4科目の中から1科目選択 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に本校で行う授業実践				
④1月22日(月)	遠 隔	【実践交流】（2h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①②③④北海道立教育研究所職員 ③酪農学園大学教官		受講者以外 への公開 予定	なし

※全4回 ※③の集合型研修は酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。

講座番号	10-5	講座名	教科研修（高校 英語） ～探究的な学びの充実に向けた授業改善～	
区分	教科指導			
研修のねらい	外国語科における探究的な学びについての理解を深め、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を活用した探究的な学びに係る演習等によって、新学習指導要領に対応した授業改善のための高等学校外国語科の実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	外国語科担当教諭 高10名
日程	実施形態	概要		
①6月13日(火) ～6月27日(火)	オンデマンド	【講義・演習】（2h） ○新学習指導要領に対応した探究的な学び		
【職場実践】単元の指導と評価の計画の作成				
②7月14日(金)	遠 隔	【協議】（3h） ○探究的な学びの充実に向けた工夫改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月16日(木)	遠 隔	【協議】（3h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①北星学園大学 准教授 白鳥 金吾 氏 （授業分析手法COLTを用いた英語授業のリフレクション手法の開発研究など）		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全3回

講座番号	11-1	講座名	教科指導力向上研修（中学校 国語） ～高校入試問題等から授業改善のヒントを得る～	
区分	教科指導			
研修のねらい	道立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から、本道の子どもの学力に係る課題を見だし、それをもって創意工夫した授業を構築できる実践的指導力（授業力）の向上を図る。		受講対象 定員	調査等の結果を踏まえた授業改善に関心のある中学校教諭 120名
日程	実施形態	概要		
①9月1日(金) ～9月11日(月)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性		
②9月13日(水)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に答える授業とはどのようなものか」 ○道立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		受講者以外への公開 予定	①オンデマンド公開

※全2回

講座番号	11-2	講座名	教科指導力向上研修（中学校 社会） ～高校入試問題等から授業改善のヒントを得る～	
区分	教科指導			
研修のねらい	道立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から、本道の子どもの学力に係る課題を見だし、それをもって創意工夫した授業を構築できる実践的指導力（授業力）の向上を図る。		受講対象 定員	調査等の結果を踏まえた授業改善に関心のある中学校教諭 120名
日程	実施形態	概要		
①9月1日(金) ～9月11日(月)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性		
②9月13日(水)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に答える授業とはどのようなものか」 ○道立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		受講者以外への公開 予定	①オンデマンド公開

※全2回

講座番号	11-3	講座名	教科指導力向上研修（中学校 数学） ～高校入試問題等から授業改善のヒントを得る～	
区分	教科指導			
研修のねらい	道立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から、本道の子どもの学力に係る課題を見だし、それをもとに創意工夫した授業を構築できる実践的指導力（授業力）の向上を図る。		受講対象 定員	調査等の結果を踏まえた授業改善に関心のある中学校教諭 120名
日程	実施形態	概要		
①9月1日(金) ～9月11日(月)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性		
②9月12日(火)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に答える授業とはどのようなものか」 ○道立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全2回

講座番号	11-4	講座名	教科指導力向上研修（中学校 理科） ～高校入試問題等から授業改善のヒントを得る～	
区分	教科指導			
研修のねらい	道立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から、本道の子どもの学力に係る課題を見だし、それをもとに創意工夫した授業を構築できる実践的指導力（授業力）の向上を図る。		受講対象 定員	調査等の結果を踏まえた授業改善に関心のある中学校教諭 120名
日程	実施形態	概要		
①9月1日(金) ～9月11日(月)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性		
②9月12日(火)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に答える授業とはどのようなものか」 ○道立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全2回

講座番号	11-5	講座名	教科指導力向上研修（中学校 英語） ～高校入試問題等から授業改善のヒントを得る～	
区分	教科指導			
研修のねらい	道立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から、本道の子どもの学力に係る課題を見だし、それをもとに創意工夫した授業を構築できる実践的指導力（授業力）の向上を図る。		受講対象 定員	調査等の結果を踏まえた授業改善に関心のある中学校教諭 120名
日程	実施形態	概要		
①9月1日(金) ～9月11日(月)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性		
②9月13日(水)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に答える授業とはどのようなものか」 ○道立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		受講者以外 への公開 予定	①オンデマンド公開

※全2回

講座番号	12	講座名	中学校国語教育充実研修 ～国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する 指導の在り方～	
区分	教科指導			
研修のねらい	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する国語科の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	中学校、義務教育学校（後期課程）の国語担当教諭（主幹教諭含む） 14名
日程	実施形態	概要		
①7月14日(金) ～8月16日(水)	オンデマンド	【講義】（0.5h） ○これからの中学校国語教育 ○教科等横断的な指導の在り方		
②8月24日(木)	遠隔	【講義・協議・演習】（4.5h） ○自己の課題の明確化 ○これからの中学校国語教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
③11月24日(金)	遠隔	【授業参観・協議】（2h）		
【フォローアップ】 実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③北海道教育大学附属函館中学校 副校長 黒田 諭 氏 (元国立教育政策研究所教育課程研究センター学力調査官。 R4全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書への執筆)		受講者以外 への公開 予定	②③当日公開

※全3回

講座番号	13	講座名	中学校数学教育充実研修 ～数学的に考える資質・能力を育成する指導の在り方～	
区分	教科指導			
研修のねらい	数学的に考える資質・能力を育成する数学教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	中学校、義務教育学校（後期課程）の数学担当教諭（主幹教諭含む） 14名
日程	実施形態	概要		
①7月14日(金) ～8月16日(水)	オンデマンド	【講義】（0.5h） ○これからの中学校数学教育 ○教科等横断的な指導の在り方		
②8月25日(金)	遠 隔	【講義・協議・演習】（4.5h） ○自己の課題の明確化 ○これからの中学校数学教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
③11月29日(水)	遠 隔	【授業参観・協議】（2h）		
【フォローアップ】 実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③愛知教育大学 特別教授 飯島 康之 氏 （文部科学省学習資源デジタル化・ネットワーク化推進事業 作画ツールコンソーシアム代表。 数学科におけるICT活用に関する論文・著書多数）		受講者以外 への公開 予定	②③当日公開

※全3回

講座番号	14	講座名	中学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する 指導の在り方～	
区分	教科指導			
研修のねらい	外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する外国語教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	中学校、義務教育学校（後期課程）の外国語担当教諭（主幹教諭含む） 14名
日程	実施形態	概要		
①6月21日(水) ～6月30日(金)	オンデマンド	【講義】（0.5h） ○これからの中学校外国語教育 ○教科等横断的な指導の在り方		
②7月11日(火)	遠 隔	【講義・協議・演習】（4.5h） ○自己の課題の明確化 ○これからの中学校外国語教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
③10月20日(金)	遠 隔	【授業参観・協議】（2h）		
【フォローアップ】 実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③英語“ワクワク授業”研究所 代表 中嶋 洋一 氏 （元関西外国語大学教授。授業づくりに関する著書多数）		受講者以外 への公開 予定	②③当日公開

※全3回

講座番号	15	講座名	小学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する指導の在り方～	
区分	教科指導			
研修のねらい	外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する外国語教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	小学校、義務教育学校（前期課程）の教諭（主幹教諭含む） 36名
日程	実施形態	概要		
①6月19日(月) ～6月26日(月)	オンデマンド	【講義】（0.5h） ○これからの小学校外国語教育 ○教科等横断的な指導の在り方		
②7月3日(月)	遠隔	【講義・協議・演習】（4.5h） ○自己の課題の明確化 ○これからの小学校外国語教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
③10月13日(金) 10月16日(月)	遠隔	【授業参観・協議】（2h）		
【フォローアップ】 実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③文部科学省初等中等教育局 視学官 直山 木綿子 氏 (H21～文部科学省初等中等教育局教科調査官。H31～現職)		受講者以外 への公開 予定	②③当日公開

※全3回 ※③は受講者はいずれかの日程で参加。

講座番号	16	講座名	英語カブラッシュアップ研修（小学校）	
区分	教科指導			
研修のねらい	外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための授業づくりに向けて、コミュニケーションの目的、場面、状況を明確にした言語活動のデザインや、児童と英語で意味のあるやり取りができる英語力を身に付ける。		受講対象 定員	小学校、義務教育学校（前期課程）の教諭（主幹教諭含む） 各回20名
日程	実施形態	概要		
①8月22日(火)	遠隔	【演習】（1h） ○クラスルーム・イングリッシュの充実		
②8月29日(火)	遠隔	【演習】（1h） ○児童を巻き込んだ読み聞かせ		
③9月6日(水)	遠隔	【演習】（1h） ○児童が自分の思いや考えを表現する言語活動の指導		
④9月27日(水)	遠隔	【演習】（1h） ○クラスルーム・イングリッシュの充実		
⑤10月24日(火)	遠隔	【演習】（1h） ○Small Talkの充実		
講師	①②③アルバータ大学 教授 オレンカ・ピラッシュ 氏 (H13～道研研修講座を担当。 第二言語教育及び北海道の外国語教育の現状に精通) ④⑤北海道教育大学釧路校 講師 クリストファー・カネフラー 氏 (小学校外国語教育に関する論文多数)		受講者以外 への公開 予定	なし

※受講者が自身のニーズに合ったものを選んで受講（それぞれのトピックによる独立した内容）。

講座番号	17	講座名	S-TEAM教育推進事業「STEAM」推進プロジェクト 「理数探究セミナー」(高等学校)	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	探究的な学習について、理科・数学における課題研究や新科目「理数探究基礎」及び「理数探究」を通じた指導方法の理解を深め、実践的指導力の向上を図るとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。		受講対象 定員	理科及び数学科担当 教諭 高28名(集合型) 高100名(遠隔型)
日程	実施形態	概要		
①11月2日(木)	遠隔・集合 (選択)	【講義・授業参観・協議】(6.5h) ○探究的な学習を深めるための学習指導の在り方		
②11月17日(金)	遠 隔	【講義・演習】(3h) ○探究の流れと探究の進め方		
③12月12日(火)	遠 隔	【演習・協議】(3h) ○探究的な学習に向けた指導方法		
講師	①②③北海道立教育研究所職員 ①道内外のSSH校で探究的な活動を担当する教諭 など		受講者以外 への公開 予定	なし

※全3回 ※①の研修は遠隔・集合から希望する形態を選択して受講いただけます。  
 ※①の集合型研修は北海道北見北斗高等学校(北見市北斗町1丁目1番地)が会場となります。

講座番号	18	講座名	科学的に探究するために必要な資質・能力を育む実践力向上 研修(中学校)	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について理解を深め、実践的指導力を高めることで、「探究の過程」を踏まえた授業改善を推進する。		受講対象 定員	理科担当教諭 中24名
日程	実施形態	概要		
①10月10日(火)	遠 隔	【説明・協議】(1h) ○課題の明確化 ○STEAM教育との関連性		
②10月11日(水)～	オンデマンド	【説明・講義】(0.5h) ○理科教育の現状と課題 ○授業改善と評価の充実 ○実習のポイント		
③11月8日(水) ～11月9日(木)	集 合	【観察、実験等を行う実習】(6.5h、6h) ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
④2月6日(火)	遠 隔	【実践交流】(2h) ○実践成果発表及び交流		
講師	①②③④北海道立教育研究所職員		受講者以外 への公開 予定	なし

※全4回  
 ※③の集合型研修は北海道札幌啓成高等学校(札幌市厚別区厚別東4条8丁目6番1号)が会場となります。

講座番号	19	講座名	問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む実践力向上研修（小学校）	
区分	教科指導（専門）			
研修のねらい	「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進する。		受講対象 定員	教諭 小24名
日程	実施形態	概要		
①9月20日(水)	遠隔	【説明・協議】（1h） ○課題の明確化 ○STEAM教育との関連性		
②9月21日(木)～	オンデマンド	【説明・講義】（0.5h） ○理科教育の現状と課題 ○授業改善と評価の充実 ○実習のポイント		
③10月5日(木) ～10月6日(金)	集合	【観察、実験等を行う実習】（6.5h、6h） ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
④1月29日(月)	遠隔	【実践交流】（2h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①②③④北海道立教育研究所職員 ③酪農学園大学 准教授 金本 吉泰 氏 （元理科教育センター職員。理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究）		受講者以外 への公開 予定	なし

※全4回 ※③の集合型研修は酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。

講座番号	20	講座名	商業科教員の実践的指導力向上研修 ～商業科目の授業づくりの進め方～	
区分	教科指導（専門）			
研修のねらい	ビジネスにおけるマネジメント能力の向上や、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができるような資質・能力の育成を目指し、体験的な学習活動を取り入れた実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	商業科担当教諭 高12名
日程	実施形態	概要		
①9月中旬～下旬	オンデマンド	【講義】（1h） ○学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり		
②10月19日(木) ～10月20日(金)	集合	【講義・演習・講話】（2日間） ○起業家精神の重要性 ○生徒実習システムを活用した授業づくり ○学習指導案作成の実際と指導と評価 ○商業高校校長によるトークセッション		
講師	②商業高校校長 ②戦略MGインストラクター （戦略マネジメントゲームを活用して経営戦略思考を養成するインストラクター）		受講者以外 への公開 予定	なし

※全2回

講座番号	21	講座名	工業科教員の実践的指導力向上研修 ～科目「工業情報数理」の授業づくりの進め方～	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	工業科の目標を踏まえた情報活用能力の育成の観点から、実践的・体験的な学習活動を通して、情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力を身に付けられる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	工業科担当教諭 高8名
日程	実施形態	概要		
①9月中旬～下旬	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり		
②10月12日(木) ～10月13日(金)	集 合	【講義・演習・講話】(2日間) ○プログラミングによる数理処理 ○学習指導案作成の実際と指導と評価 ○生徒実習システムを活用した授業づくり ○工業高校校長によるトークセッション		
講師	②工業高校校長		受講者以外 への公開 予定	なし

※全2回

講座番号	22	講座名	生徒指導研修1 ～いじめ問題への組織的な対応～	
区分	生徒指導			
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議を通して、学校いじめ防止基本方針のポイント及び学校いじめ対策組織を機能させるための具体的な方策について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 及び教諭、養護教諭 48名
日程	実施形態	概要		
①6月13日(火) ～6月27日(火)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○学校におけるいじめ問題への対応のポイント(NITS校内研修シリーズNo.90) ○「学校いじめ防止基本方針」のポイント		
【職場実践】自校における課題の明確化				
②7月3日(月)	遠 隔	【講義・演習・協議】(5h) ○いじめ問題への組織的な対応 ○学校いじめ防止基本方針の見直し ○校内体制の構築、外部機関との連携の在り方		
【職場実践】児童生徒、保護者向けの学校いじめ防止基本方針の検討				
③11月28日(火)	遠 隔	【実践交流】(1.5h) ○職場実践の交流		
講師	②北海道教育大学 教授 平野 直己 氏 (北海道いじめ問題審議会委員)		受講者以外 への公開 予定	②当日公開

※全3回

講座番号	23	講座名	生徒指導研修2 ～不登校児童生徒への支援の在り方～	
区分	生徒指導			
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議等を通して、自校の不登校児童生徒への対応について課題を整理するとともに、組織的な支援方策について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 及び教諭、養護教諭 48名
日程	実施形態	概要		
①6月15日(木) ～6月29日(木)	オンデマンド	<b>【講義】(1h)</b> ○教育機会確保法と不登校支援施策(NITS校内研修シリーズNo.89) ○不登校児童生徒への学びを止めない・心を近づける学習支援 ○関係機関との連携の在り方  <b>【職場実践】</b> 自校における課題の明確化		
②7月6日(木)	遠隔	<b>【講義・協議・演習】(2.5h)</b> ○不登校児童生徒への効果的な支援の在り方 ○不登校児童生徒への組織的な支援		
③7月13日(木)	遠隔	<b>【協議・演習】(2.5h)</b> ○関係機関との連携の実際 ○自校の課題解決の方策		
講師	③北海道教育委員会兼江別市教育委員会 SSW 田村 千波 氏 ③社会福祉法人楡の会 臨床心理士 岡部 善也 氏 ③北海道保健福祉部職員(未定)		受講者以外 への公開 予定	なし

※全3回

講座番号	24	講座名	生徒指導研修3 ～「心の危機に気付く力」と「相談する力」の育成～	
区分	生徒指導			
研修のねらい	講義及び受講者同士の協議等を通して、自殺予防教育の中核をなす早期の問題認識と援助希求的態度の促進について理解を深めるとともに、組織的・計画的な取組について理解する。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 及び教諭、養護教諭 48名
日程	実施形態	概要		
①5月23日(火) ～6月6日(火)	オンデマンド	<b>【講義】(0.5h)</b> ○自殺予防(NITS校内研修シリーズNo.95前編・後編)  <b>【職場実践】</b> ○学校の実情や児童生徒の実態に合わせた「核となる授業」の組織的な授業実践等 ○ワークシート作成		
②6月23日(金)	遠隔	<b>【講義・演習・協議】(5h)</b> ○今求められる自殺予防教育 ○援助希求的態度の促進 ○「SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防教育」の積極的な推進 ○教職員間及び関係機関等との連携		
講師	②北海道医療大学 教授 富家 直明 氏 (北海道医療大学心理学部長。 日本カウンセリング学会常務理事。 H24子ども理解支援ツール「ほっと」共同開発者。 北海道いじめ等解決支援外部専門家チーム員)		受講者以外 への公開 予定	②当日公開、 後日オンデマンド化

※全2回

講座番号	25	講座名	「総合的な探究の時間」実践研修 (胆振、上川、日高、釧路、根室)	
区分	課題対応			
研修のねらい	講義及び実践発表、受講者同士の協議等を通して、「総合的な探究の時間」において教科等横断的に資質・能力を育成する学校体制の構築の道筋をつける。		受講対象 定員	・上川、胆振、日高、根室、釧路管内の「総合的な探究の時間」を実施する全ての道立高校（市町村立高校は任意） ・遠隔型研修Ⅰ及びⅡは、「総合的な探究の時間」の企画担当グループ等。分散型研修は、企画担当者のうち1名。
日程	実施形態	概要		
【事前課題】自校の現状把握				
①6月1日(木)	遠隔	【講義】(2.5h) ○探究のプロセスを踏まえた学習活動の充実に向けて		
②6月13日(火)	遠隔	【講義】(2.5h) ○北海道高等学校における探究活動の課題と実践例		
【職場実践】自校の課題の焦点化				
③ 上川 7月31日(月) 胆振 8月1日(火) 日高 8月3日(木) 根室 8月7日(月) 釧路 8月8日(火)	分散	【実践発表・協議】(3h) ○道内における好事例の実践発表 ○他校との実践交流		
【職場実践】課題解決プランの作成				
講師	①國學院大學 教授 田村 学 氏 (文部科学省国立教育政策研究所教科調査官、 文部科学省初等中等教育局視学官を歴任) ②北海道大学 准教授 篠原 岳司 氏 (北海道教育学会理事、 北海道教育推進会議高等学校専門部会委員)		受講者以外 への公開 予定	①②当日公開

※全3回

講座番号	26	講座名	保護者との連携の在り方 ～保護者理解に向けたロールプレイ演習～	
区分	課題対応			
研修のねらい	保護者との関わりに係る講義、ロールプレイ演習及び受講者同士の協議を通して、保護者理解に基づく良好な関係づくりに向けた関わり方について理解を深める。		受講対象 定員	小学校教員 32名
日程	実施形態	概要		
【事前課題】 ○コーチングのスキルと活用Ⅳ～円滑な保護者対応に生かす～(NITS校内研修シリーズNo.80) ○自身の保護者対応の現状				
①6月30日(金)	集合	【講義・演習・協議】(3.5h) ○保護者理解に基づく良好な関係づくり ○ロールプレイ演習「保護者との関わり」 ○ロールプレイ演習で得た気付き		
講師	①別府大学 客員教授 佐藤 敬子 氏 (NITS校内研修シリーズNo.80「コーチングのスキルと活用Ⅳ」講師。主な著書「教師のコミュニケーション力を高める コーチング」(共著))		受講者以外 への公開 予定	①当日公開、 後日オンデマンド化

※全1回

講座番号	27	講座名	情報活用能力育成のためのカリキュラム・マネジメント ～小・中・高を通じた情報活用能力の育成～	
区分	課題対応			
研修のねらい	小・中・高を通じた体系的な視点や学習指導要領に基づく教科等横断的な視点から、学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力を育成するため、各教科の特性に応じた適切な指導場面や学習内容について理解を深め、実践的指導力、授業力の向上を図る。		受講対象 定員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校及び義務教育学校の情報教育担当教諭</li> <li>・中学校及び義務教育学校の技術・家庭科（技術分野）担当教諭（免許外含む）</li> <li>・高等学校教諭の情報科担当教諭</li> </ul> 小20名中10名高10名計40名
日程	実施形態	概要		
①9月中旬～下旬	オンデマンド	【講義】（0.5h） ○学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり ○小・中・高を通じた体系的な情報活用能力を目指したプログラミング教育		
② 小 10月26日(木) 中 11月2日(木) 高 11月9日(木)	遠隔	【講義】（1日間） ○校種間の連携を踏まえたカリキュラム・マネジメント 【実践発表（道内教員）】 ○小・中・高を通じた体系的な情報活用能力の育成を踏まえた授業実践について 【演習】 ○プログラミング教育の実際（校種別）		
③ 小 11月16日(木) 中 11月22日(水) 高 11月30日(木)	遠隔	【講義】（1日間） ○教科等横断的な視点でのカリキュラム・マネジメント 【協議】 ○情報活用能力育成のためのカリキュラム・マネジメント		
講師	①②③北海道立教育研究所職員		受講者以外への公開 予定	なし

※全3回

講座番号	28	講座名	地域を創造する人材育成の推進 ～起業家教育の視点からのSTEAM教育の展開～	
区分	課題対応			
研修のねらい	これからの時代を創る地域の担い手となるために必要とされる、情報収集・分析力、判断力、実行力等の起業家的資質・能力を身に付けた人材育成の推進に向けて、ビジネスゲームを教材とした探究的・体験的な学習活動を取り入れた実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	起業家教育の視点から地域人材育成の推進を図る高校の教諭 高28名
日程	実施形態	概要		
①11月中旬～下旬	オンデマンド	【講義】（1h） ○起業家教育とSTEAM教育 ○ビジネスゲームとは		
②12月8日(金)	集合	【講義・演習・協議】（1日間） ○生徒実習システムについて ○ビジネスゲームを活用した授業づくり ○地域を支える人材育成について		
【職場実践】STEAM教育の展開に向け研修用サイトやウェブ会議を活用した個別サポート				
講師	①②北海道立教育研究所職員		受講者以外への公開 予定	なし

※全2回

講座番号	29	講座名	へき地・小規模校教育充実研修	
区分	課題対応			
研修のねらい	自校の複式等の状況に応じた効果的な学年別指導等の在り方及び小規模校における課題解決の方策として遠隔合同授業などの多様な学習形態を取り入れた指導について理解を深め、へき地・小規模校における実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	・へき地、小規模の小学校に勤務している教頭及び教諭 ・へき地、小規模校教育に関心のある小学校の教頭及び教諭 20名
日程	実施形態	概要		
①5月25日(木)	遠隔	【講義・協議・演習】(3.5h) ○へき地・小規模校における学習指導の在り方 ○実践テーマの設定		
【職場実践】 ○自己研修 ○道へき地・複式教育研究会と連携した取組				
②12月7日(木)	遠隔	【実践交流・協議】(1h) ○実践発表		
講師	①北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター副センター長 川前 あゆみ 氏 (道教育大へき地・小規模校教育研究センターとの連携) ①北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターセンター員 前田 賢次 氏		受講者以外への公開 予定	①当日公開

※全2回

講座番号	30	講座名	薬品取扱い研修(小・中・高等学校)	
区分	課題対応			
研修のねらい	「薬品を用いた観察、実験を行う実習」や、「薬品管理に係る法令」等の講義を通して、学校で取り扱う薬品の安全で適切な管理について実感を伴った理解を深め、観察・実験などで適切に取扱うための知識・技能を身に付ける。		受講対象 定員	理科担当教諭(中・高)、教諭(小) 小、中、高 各8名
日程	実施形態	概要		
①7月14日(金)	集合	【講義・協議・実習・振り返り】(1日間) ○薬品管理、薬品の調製、廃棄方法 ○校種別の薬品取扱い、器具の取扱い、実験の留意事項 等		
講師	①北海道立教育研究所職員		受講者以外への公開 予定	なし

※全1回

# 研修講座受講手続き等

問合せ：総務部事業課（TEL 011-386-4512）

## 1 受講申込み手続きについて

### (1) 受講申込書による申込み

「北海道立教育研究所研修講座受講申込書」（道研 Web ページからダウンロード）により、次のとおり申し込んでください。

	申込先	申込期限
道立学校	各教育局	申込先に確認
市町村立学校	各市町村教育委員会	申込先に確認

<様式のダウンロード>

道研 Web ページ → トップページ → 「研修講座について知りたい」  
→ 研修について「受講申込の流れ」

- (2) 受講に当たり、配慮が必要なことがありましたら、申込様式の「配慮事項」欄の該当項目を選択してください。（例：車いす使用、手話通訳など）
- (3) 申込期限後であっても定員の空き状況等によって受講可能な場合がありますので、追加希望がある場合はお問い合わせください。

## 2 受講決定について

各教育局を経由して通知します。研修講座初日の 10 日前までに通知がない場合は、申込先までお問い合わせください。

## 3 旅費について

受講に係る旅費を措置しますので、受講申込書の「旅費」欄に金額を記載し、申込をお願いいたします。

また、受講後、速やかに教職員事務課あて旅費請求書を提出してください。

なお、市町村立高等学校（全日制課程）、札幌市立学校及び私立学校については旅費の措置がありませんので御承知おきください。

## 4 受講取消について

受講決定後に研修講座を受講できなくなった場合は、当研究所総務部事業課あてに電話にて御連絡の上、道立学校においては教育局、市町村立学校においては市町村教育委員会を経由して「受講取消連絡票」（道研 Web ページからダウンロード）を提出いただきますようお願いいたします。

<様式のダウンロード>

道研 Web ページ → トップページ → 「研修講座について知りたい」  
→ 研修について「受講申込の流れ」

## 5 公開講義への申込みについて

公開講義については、別途送付するリーフレット「令和 5 年度 北海道立教育研究所 公開講義について」により申込手続を行ってください。



## 受講取消連絡票

番号	研修講座名		
日程			
学校名			
職名	氏名		
理由			
担当者 (管理職)		職名	
		TEL	
		FAX	

北海道立教育研究所総務部事業課

TEL : 011-386-4512

FAX : 011-386-4977

※北海道立教育研究所事業課あてに、お電話にて御連絡ください。

また、申込時の流れと同様に道立学校は教育局から、市町村立学校は市町村教育委員会を經由して本連絡票を提出いただきますようお願いします。

# 受講上の留意事項

問合せ：総務部事業課（TEL 011-386-4512）

- 1 施設の利用方法等について  
詳細については、道研 Web ページに掲載していますので、受講前に必ず確認してください。  
なお、施設利用案内及び医療機関一覧は当研究所ラウンジにも掲示しています。
- 2 服装・持ち物について
  - (1) 受講者としてふさわしい服装で受講してください。
  - (2) 所内は、廊下など暖房・冷房設備の無い場所があるため、暑さ・寒さを調整できる衣類を用意してください。  
新型コロナウイルス感染対策のため、研修期間中に換気を行いますので、特に寒い時期は、各自、防寒対策をお願いします。
  - (3) 上靴は不要です。
  - (4) その他、受講に当たっての必要な持ち物等は別途連絡します。
- 3 事前課題・事前研修等について  
事前課題や事前研修が必要な場合は、受講決定後に別途連絡します。
- 4 遠隔型研修について
  - (1) 遠隔型研修では、ウェブ会議サービス「Cisco Webex Meetings」を使用する場合がありますので、あらかじめ「Cisco」ホームページ上のテスト動画を御覧いただき、「Cisco Webex Meetings」が問題なく使用できることを確認の上、申込みを行ってください。
  - (2) 遠隔型研修の本番前に接続テストを実施します。日程等については、受講決定後に別途お知らせします。
  - (3) ネットワーク環境等によっては、研修講座の途中で音声や映像が途切れる場合があります。  
その場合の代替措置等については研修講座ごとに異なりますので、実施要項を確認の上、定められた方法により受講してください。
  - (4) 研修講座に係る配信画面、配信動画等を無断で録画（スクリーンショットでの撮影を含む）、録音、ダウンロードはしないでください。
- 5 食事について  
研修会場及び食堂で昼食をとることは可能ですが、食事の提供は行いませんので、各自で準備してください。  
また、食事で発生したゴミ等は所内のゴミ箱には捨てず、各自で持ち帰ってください。
- 6 宿泊について  
当研究所に宿泊することはできませんので、必要な場合は各自でホテル等を手配してください。

## 7 喫煙について

敷地内は全面禁煙となっております。

## 8 防災について

- (1) 講座会場に掲示している「電気・消防関係等設置図」で非常口、消火器及び AED 等の位置を確認してください。
- (2) 火災や地震等が発生した際は、所員の指示により避難してください。
- (3) 火災を発見した場合は、非常ベルを押してください。

## 9 その他

- (1) 売店で日用雑貨、事務用品、お土産等の販売をしています。
- (2) 大麻駅発の JR、新札幌駅行きバスの時刻表をラウンジに掲示しています。
- (3) 消毒薬、絆創膏及び体温計等を受付と総務部に常備しています。体調が良くない場合は、遠慮せずに所員に申し出てください。  
また、施設・設備の異常（水漏れ等）が発生し、緊急の連絡が必要な場合は、総務部に申し出てください。
- (4) 受講者が利用できるコピー機は設置していません。
- (5) 道研周辺に飲食店やコンビニエンスストア等はありませんが、大麻駅周辺には飲食店、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、銀行、郵便局等があります。  
なお、大麻駅までは徒歩約 15 分です。

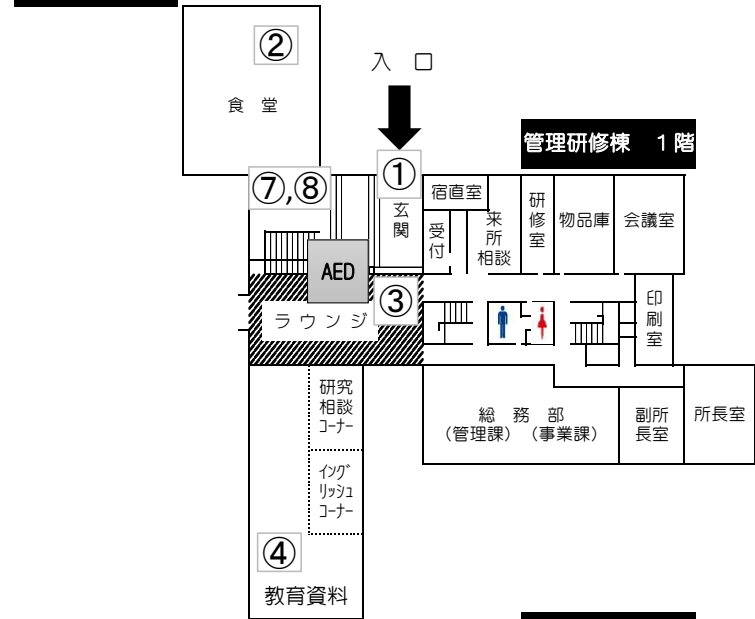
## 北海道立教育研究所の施設・設備

所内の施設・設備の利用方法等は次のとおりです。

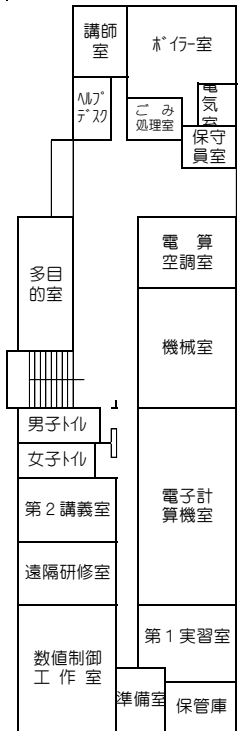
施設・設備	利用時間	利用方法等
①施設入口		手指消毒装置及び非接触で検温できる体温計を設置しています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入所時には必ず手指の消毒及び体温の確認を行ってください。
②食堂	研修講座期間中の 昼食時間のみ (12:00～13:00)	持参した食事を摂る際に使用できます(食事提供はありません)。食事中は会話を慎み、食事終了後は直ちにマスクを着用するなど、感染拡大防止に御協力をお願いします。
③新聞	研修講座期間中	ラウンジで御覧ください。
④教育資料室	研修講座期間中	図書や研究紀要等を借りることが可能ですが、研修講座閉講までに返却してください。また、感染拡大防止の観点から、利用時は総務部に申し出ていただきますようお願いいたします。
⑤飲料自動販売機	研修講座期間中	2階ホワイエに2台設置しています。
⑥売店	研修講座期間中 (8:30～17:30)	日用雑貨、事務用品、お土産、郵便切手等の販売をしています。
⑦冷蔵庫	研修講座期間中	食堂前に1台設置しており、食事の保管等に利用できます。利用時は持参した食事等に必ず氏名を記載してください。
⑧電子レンジ	研修期間中	食堂前に1台設置しており、食事の温めに利用できます。

※ 施設・設備の場所は、次のページの建物平面図で確認してください。

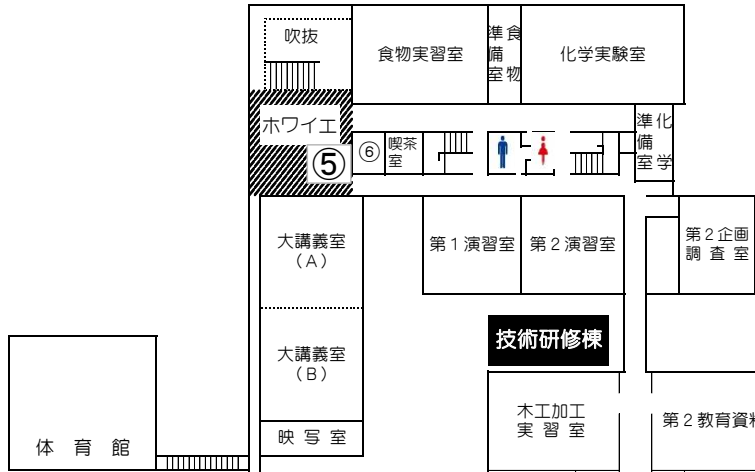
**建物平面図**



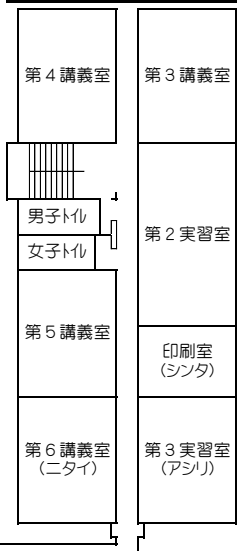
**情報処理教育棟 1階**



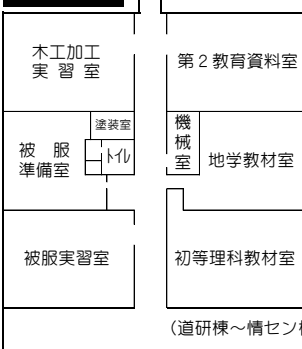
**管理研修棟 2階**



**情報処理教育棟 2階**

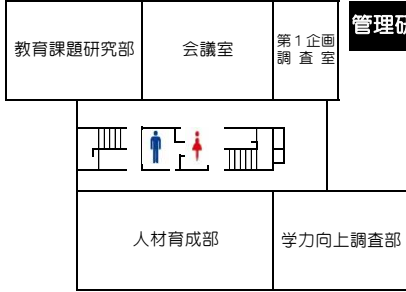


**技術研修棟**

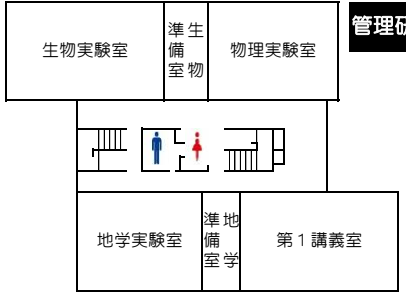


(道研棟～情セン棟間の渡り廊下)

**管理研修棟 3階**



**管理研修棟 4階**



## 電話・FAX番号等一覧、交通アクセス

区分	電話番号	FAX番号	主な業務
総務部 (代表)	011-386-4511	011-386-4977	管理課 ○施設及び設備に関する業務
	011-386-4512		事業課 ○事業の計画・実施・予算に関する業務
人材育成部	011-386-4513	011-386-4988	○研修全般の総合調整に関する業務 ○人材育成に係る研修・研究
教育課題研究部	011-386-4524		○教育研究全般の総合調整及び成果の普及・発信に関する業務 ○教育課題に係る研修・研究 ○情報教育、産業教育及び理科教育の振興
学力向上調査部	011-386-4517		○各教科の指導力向上及び学力向上に係る研修・研究 ○学力向上に関する調査の集計及び分析

### メールアドレス

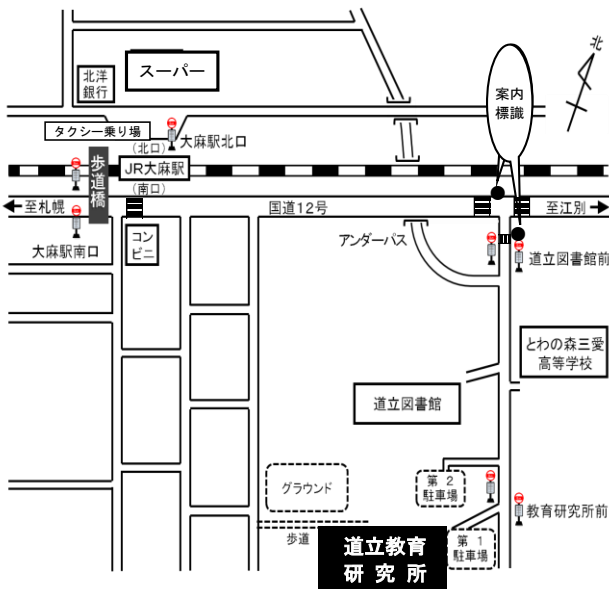
(代表) doken@hokkaido-c.ed.jp

(事業課) doken.jigyoka@pref.hokkaido.lg.jp

### ホームページ

(URL) <http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp/>

※令和5年(2023年)4月1日から組織機構を変更する予定です。



〒069-0834 江別市文京台東町42番地

### 【JR大森駅を利用する場合】

- 徒歩  
・大森駅北口 → 歩道橋 → 道研 [約15分]  
・大森駅南口 → 横断歩道
- タクシー  
・大森駅北口タクシー乗り場 → 道研 [乗車約5分]

<最寄りのタクシー会社>

- ・つばめタクシー TEL:011-386-8181
- ・東交通タクシー TEL:011-814-1050

### 【JR新札幌駅(地下鉄 新さっぽろ駅)を利用する場合】

- 新札幌バスターミナルへ、徒歩により移動する。  
※バス乗車時間約10~20分

乗り場	会社	乗車バスの行き先	降車停留所	道研
10番	JRバス 厚別営業所 TEL:(011) 891-2544	新24「大森11丁目」、 新24「道立図書館前」	道立図書館前	徒歩
		循環 新82「新札幌駅」、 循環 新83「新札幌駅」	教育研究所前	
		新25「ゆめみ野東町」、 新26「野幌駅北口」、 新26「江別駅」、新29「情報大 学前・野幌運動公園」	大森駅南口	徒歩 又は タクシー
12番	夕鉄バス 野幌営業所 TEL:(011) 382-2778	「栗山駅前」、「南幌東町」、 「夕張南部」、「あけぼの団地 昭光福祉会」	大森駅南口	徒歩 又は タクシー

### 【自家用車を利用する場合】

- 国道12号線から案内標識を目印に南方向(文教通)へお入りください。  
道研に到着しましたら、第1駐車場又は第2駐車場をご利用ください。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、本研修講座案内に掲載の内容について実施を延期、中止又は形態を変更する場合があります。今後、取扱いに変更がある場合は、改めて通知します。



